

(^_^) 『明日からの学級が変わる！HOWTO学級作り・特別活動』 (^_^)

(^_^) 山口学級活動ネットワーク メールマガジン (^_^)

(^_^) 平成20年05月19日発行 第57号 (^_^)

∞メニュー∞∞

1 子どもたちに確かな力を育てる集会活動 ～その6

2 使える「学級づくりミニ実践」～『学級カレンダー』

3 メルマガ編集部からのお知らせ

∞∞

1 子どもたちに確かな力を育てる集会活動 ～その6 企画のステップ2

山口市立平川小学校 梶田崇晴

前号で「集会をみんなで企画」するパターンを紹介しました。今回は「係が企画」するパターンを紹介します。

学級生活をより豊かにしていこうという目的を持って取り組んでいる係活動。その係が中心になって集会を企画するというパターンです。

私の場合、係活動には3つの活動に取り組みさせます。一つは、広報活動です。二つ目は協力活動です。そして三つ目がイベント活動です。この三つ目のイベント活動が、今回紹介するパターンとなります。

係活動のねらいは、先に述べたように、学級生活を自分たちの手でよりよいものにしていこうというものです。そこで、それぞれの係にミニイベントを企画させます。

次のように進めます。

(1) 係のミニイベント大会を行うことを宣言する。

次のことを連絡黒板に掲示します。

「係のイベントをしよう！」

 コマーシャル期間=====〇月〇日～〇月〇日

 イベントを行う期間=====〇月〇日～〇月〇日

 やる時間=====15分休みと昼休み

 場 所=====教室，校庭，体育館

(2) 係ごとにイベントを考えるための時間を確保する。

どのようなイベントを仕組みと、みんなが参加してくれるかを考えさせます。もちろん、イベントを行うかどうかは自由とします。

そして、次の2つのことを助言します。

ア：みんなには、無理やり来なさいと言ってはいけません。上手に宣伝し

て、やりたいな、見たいなという気持ちにさせることが大切です。画用紙、工作用紙、色画用紙など、必要なものは先生に言ってください。すぐ準備します。

イ：一つのイベントをいくつかの係で協力し合って作り上げてもいいです。

(3) イベント計画を提出させる。

イベント計画ができたところから、計画書を作成させ、提出させます。その時、次の2つのことを助言します。

ア：同じ時間に、複数の係が同時に行うと、お客さんの数が少なくなる
こと。

イ：毎日イベントを行うと、他の係のイベントに、お客さんとして参加
できないこと。

(4) コマーシャル期間では次のように取り組む。

自分たちのミニイベントを紹介するポスターをかかせます。そして貼る場所を指定し、自分たちで貼らせます。

朝の会や帰りの会を使って、「イベント紹介タイム」をとります。30秒コマーシャルタイムなどという名称ではいかがでしょうか。

(5) 係ごとのミニイベント一覧表を教師がつくる。

カレンダー式の内紙をつくり、いつ、どこで、どの係がどういうイベントを行うのかがわかるように一覧表をつくり、それを掲示板に貼っておきます。

ここまでできたら、後は実行あるのみです。

係の催し物（ミニイベント）は係活動の活性化にもつながりますので、積極的に取り組んでもらいたいと思います。

2 使える「学級づくりミニ実践」～『学級カレンダー』

山口大学附属山口小学校 吉田哲朗

どの学級にもカレンダーはあります。しかし、ただ日付を確認するだけのものでは惜しい。学級には、その学級なりのスケジュールがあるはず。そこで考えたのが「学級カレンダー」です。

書き込みができる普通カレンダーでもよいですが、学級みんなで使うにはもう少し大きな方がよい。大判用紙等を使うのがお勧めです。（私の学校には幸い大判プリンタがあるため、A1版のカレンダーを12カ月分作成しています）

この学級カレンダーの中には次のようなこと書き込んでいます。

- ・学級全員の誕生日

互いの誕生日を知り合い、「おめでとう」と言葉を掛け合える関係はとても大切ですね。

- ・学級イベントの予定

「あと何日だね。準備はいいかな？」とイベントへの期待感と見通しをもつことができます。

- ・各係のミニイベントの予定

係が活動が活発になってくると、互いの活動が重なって、参加者の取り合いになるなどのことが起こることもあります。このようにすると互いの活動を尊重し合い、見通しをもって譲り合うことが可能になります。

スケジュールではありませんが、次のようなことも書きます。

- ・担任からのメッセージ

「この時にはこんな姿でいてほしい」と思いを伝える手段とします。

- ・学級にとっての歴史

「みんなが出会ったはこの日」、「こんなすごいことが学級で起こった」など、学級で生み出されたドラマを書き込んできます。自分たちがどのように学級を作ってきたかということにも自覚的になれるし、例えば学期末、学期始めに自分たちの姿を振り返る時にも有効だと考えています。

4・5月は教師の手が書き進めています。もう少ししたら、「自分たちで書いていきたい」という気持ちが生まれてくるでしょう。そうすれば、カレンダー系の誕生日です。

子どもたちと楽しみながら、カレンダー作りの可能性を探っていきたいと思っています。

みなさんも、『学級カレンダー』をつくってみませんか？

3 メルマガ編集部からのお知らせ

◆次号の予告◆◇◆

第58号は5月下旬ごろ発行予定です。

次号の特集も、集会活動の企画についてお知らせします。

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は225名です。どんどん読者が増えてきています。嬉しい限りです。これまで以上に内容を充実させていく必要を感じています。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆内容の充実について◆◇◆

このメールマガジンでは、読者のみなさんのニーズに応える紙面作りに取り組んでいこうと思っています。こんな内容について書いて欲しい。こういう情報が欲しい、ということをお知らせください。

sugi-net@c-able.ne.jp

本年度中に特別活動の年間計画をつくる必要があります。そのあたりについても可能な限り書いていこうと思います。

◆実践投稿のお願い◆◇◆

読者のみなさん、みなさんが取り組まれている情報を送ってください。学級づくりの実践を広げ、共有していきましょう。

本メールマガジンでは、次のような新しいテーマで情報交換を行ってみようと考えています。どんな小さな事でもけっこうです。情報をお待ちしています。

*こんな時、どうする？コーナー

学級での生活の中でのいろいろな場面を想定し、その時、どういう手立てをうてばよいか、についての実践を紹介してください。これまでに取り組まれたことのある実践もお待ちしています。

*学級づくりで、はっ！とさせられたこと

長く学級担任をやっていると、自分のやり方が当たり前になってしまっていることに気づかされることがあります。それを教えてくれるのが子どもたちだったりします。そういう出来事や子どもたちのつぶやきを紹介してください。

*子どもってすごいなあ！と思ったこと

子どもがもっているものって素晴らしいです。子どもたちといると、「子どもってすごいなあ」と感心させられることが多々あります。子どもたちのそういう姿を紹介しあいませんか。

以下のアドレスまでよろしくお願ひします。

sugi-net@c-able.ne.jp

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見はsugi-net@c-able.ne.jpまで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（山口市立平川小）

津村元文（美祢市立伊佐小）

能勢雅子（山陽小野田市立高千帆小）

吉田哲朗（山口大学附属山口小）

=====